2018年2月28日

日本コンセプト株式会社
決算説明会資料



東証一部（9386）

Responsible Care For Global Environment

1．会社概要

2．2017年度決算

3．財務ハイライト

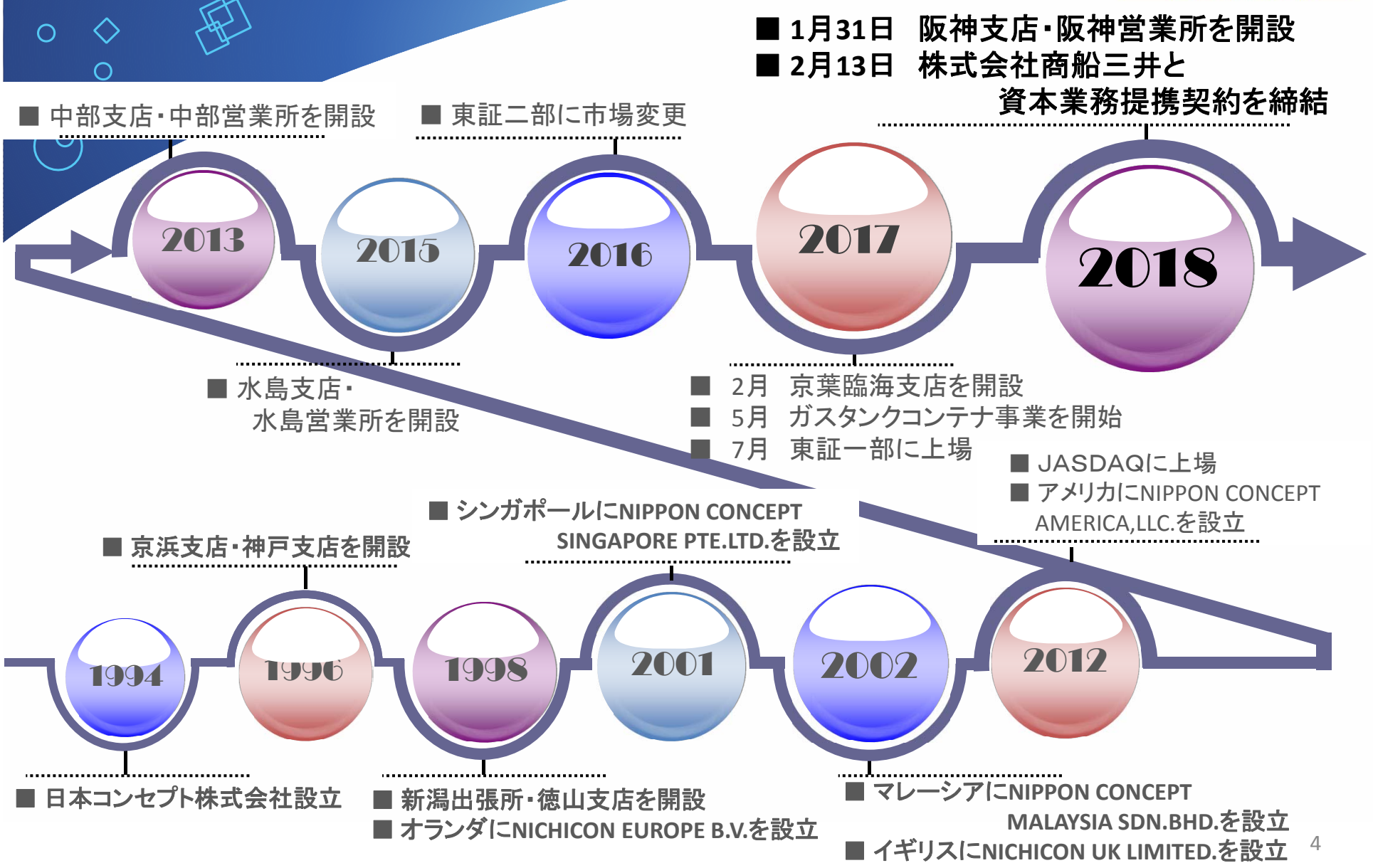
4．ビジネスモデル

1-1　CORPORATE PROFILE

社　　名	日本コンセプト株式会社	
設　　立	1994年1月6日	
所　在　地	東京都千代田区内幸町2-2-2 富国生命ビル 8階	
代表取締役社長	松元　孝義	
資　本　金	6億44万円	（2017年12月末時点）
上 場 市 場	東京証券取引所 市場第一部 （証券コード　9386）	
単元株式数	100株	
決　算　期	12月	
子 会 社 数	6社	
従 業 員 数	172名	（連結、2017年12月末時点）



1-2 CORPORATE HISTORY



1．会社概要

2．2017年度決算

3．財務ハイライト

4．ビジネスモデル

2－1　2017年度決算　連結損益計算書

（単位：百万円）

科　　目	第 23 期 2016年1月1日～ 2016年12月31日		第24期 2017年1月1日～ 2017年12月31日		増　減 金 額	 率
売上高	10,494		11,705		1,210	11.5%
売上原価	7,475		8,456		981	13.1%
売上総利益 (率)	3,019	(28.8%)	3,248	(27.8%)	229	7.6%
販売費及び一般管理費	1,302		1,383		80	6.2%
営業利益 (率)	1,716	(16.4%)	1,865	(15.9%)	149	8.7%
営業外収益	30		32		1	5.0%
営業外費用	163		125		△38	△23.4%
経常利益 (率)	1,583	(15.1%)	1,772	(15.1%)	188	11.9%
特別利益	2		－		△2	△100.0%
特別損失	7		4		△2	△36.0%
税金等調整前当期純利益 (率)	1,578	(15.0%)	1,767	(15.1%)	189	12.0%
法人税等	498		522		23	4.7%
当期純利益 (率)	1,079	(10.3%)	1,245	(10.6%)	165	15.3%

2－2　2017年度決算　連結貸借対照表

（単位：百万円）

科　目	第23期（2016年12月31日）	第24期（2017年12月31日）	増減 金額	増減 率
【資産の部】				
流動資産	3,922	4,164	241	6.2%
現金及び預金	2,569	2,492	△77	△3.0%
売掛金	1,177	1,330	152	13.0%
その他	176	342	166	94.4%
貸倒引当金	△0	△1	△0	－
固定資産	10,897	11,493	596	5.5%
有形固定資産	10,637	11,068	431	4.1%
建物及び構築物　（純額）	883	1,236	352	39.9%
タンクコンテナ（純額）	7,098	6,890	△208	△2.9%
土地	2,195	2,195	－	－
その他（純額）	458	745	287	62.6%
無形固定資産	138	229	91	66.2%
投資その他の資産	121	194	73	60.0%
繰延資産	0	－	△0	△100.0%
資産合計	14,819	15,657	837	5.7%

科　目	第23期（2016年12月31日）	第24期（2017年12月31日）	増減 金額	増減 率
【負債の部】				
流動負債	2,884	3,332	447	15.5%
買掛金	772	879	106	13.7%
短期借入金	120	420	300	250.0%
1年内返済予定の長期借入金	1,191	974	△216	△18.2%
1年内償還予定の社債	30	－	△30	△100.0%
リース債務	267	422	154	57.5%
未払法人税等	167	321	153	91.5%
賞与引当金	24	29	4	18.8%
その他	309	285	△24	△7.8%
固定負債	4,892	4,390	△501	△10.2%
長期借入金	3,258	2,869	△389	△12.0%
リース債務	1,473	1,375	△98	△6.7%
退職給付に係る負債	92	99	6	7.0%
その他	67	47	△20	△30.0%
負債合計	7,777	7,723	△53	△0.7%
【純資産の部】				
株主資本	7,022	7,875	852	12.1%
資本金	600	600	－	－
資本剰余金	526	526	－	－
利益剰余金	5,896	6,748	852	14.5%
自己株式	△0	△0	－	－
その他の包括利益累計額	20	59	39	194.8%
純資産合計	7,042	7,934	891	12.7%
負債純資産合計	14,819	15,657	837	5.7%

1．会社概要

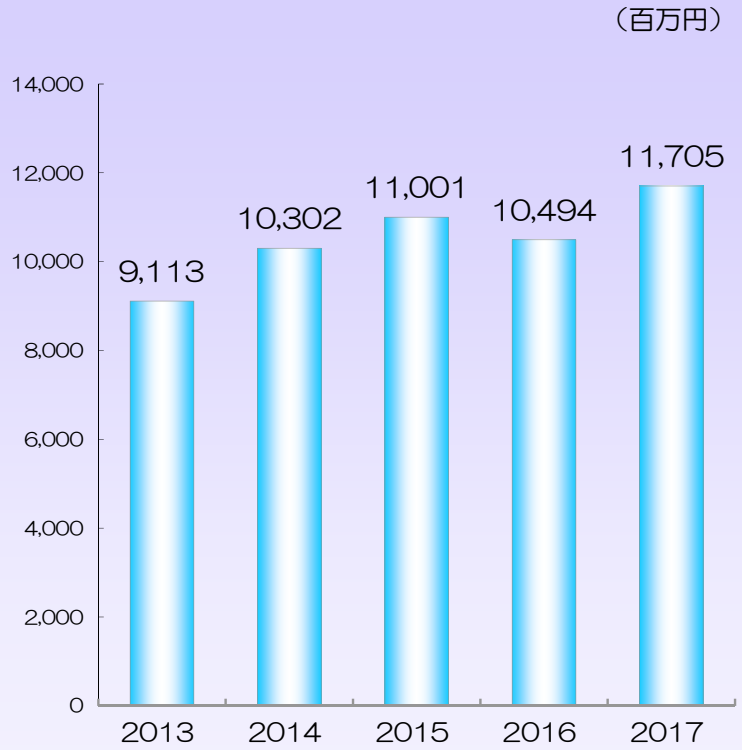
2．2017年度決算

3．財務ハイライト

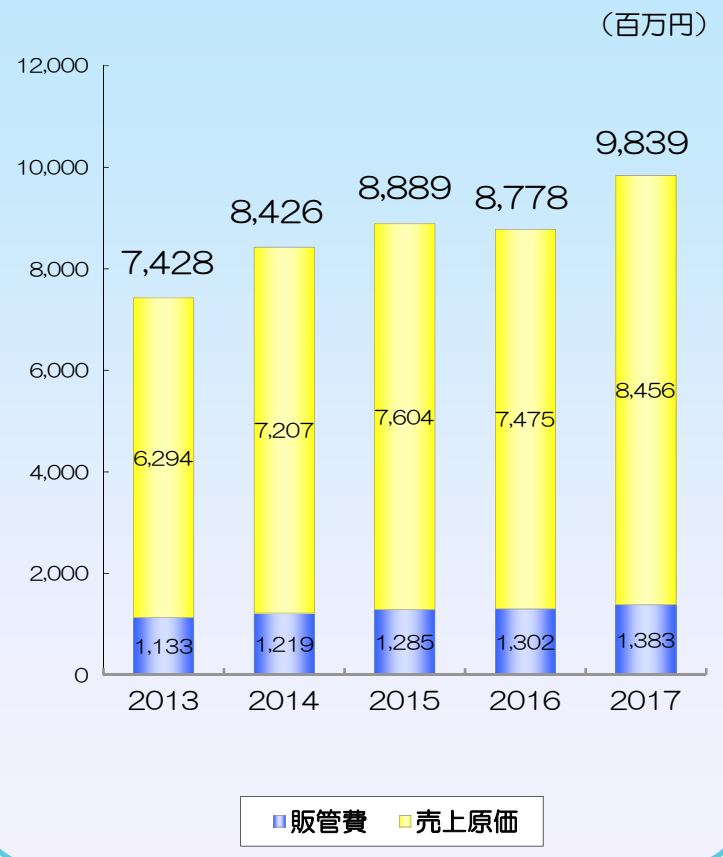
4．ビジネスモデル

３－１　財務ハイライト（収益関連①）

売　上　高

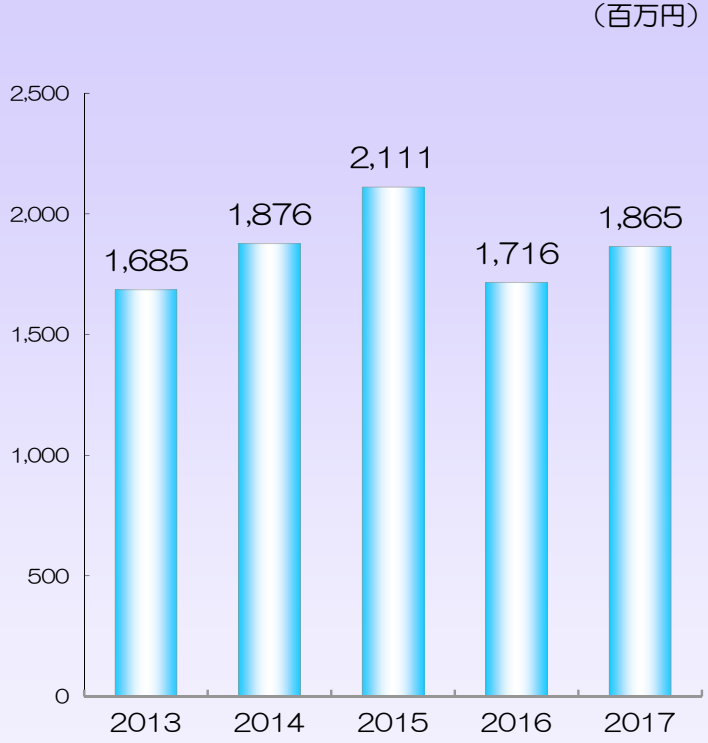


売上原価・販管費

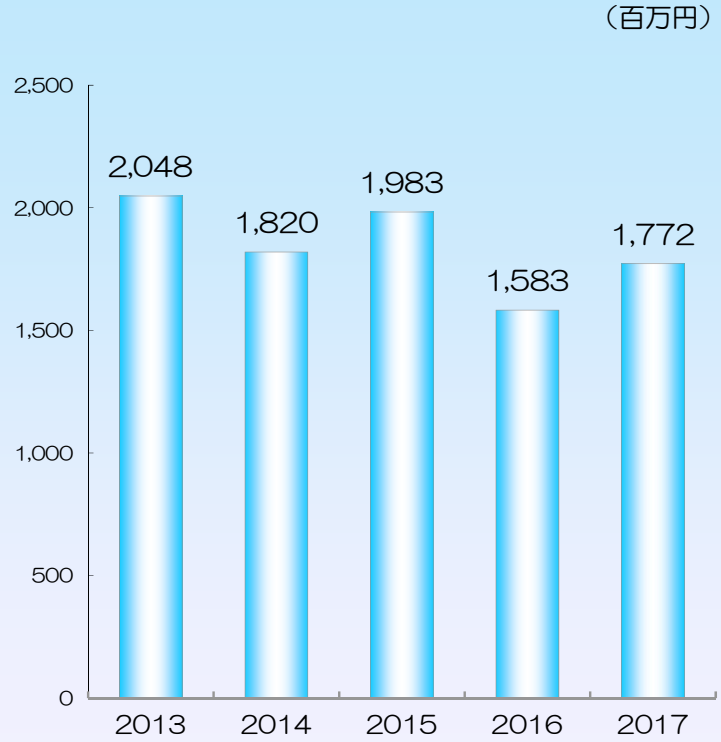


３－２　財務ハイライト（収益関連②）

営業利益

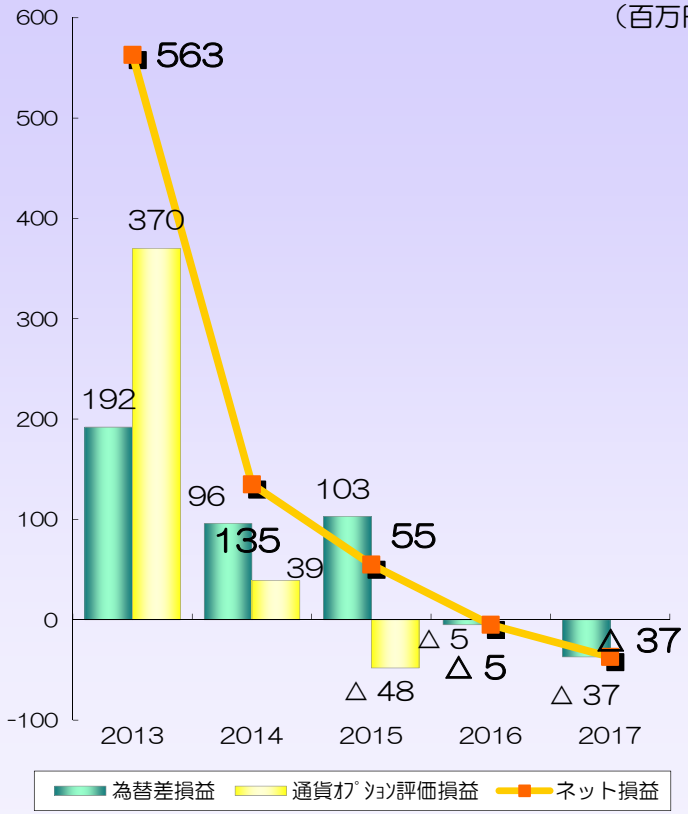


経常利益

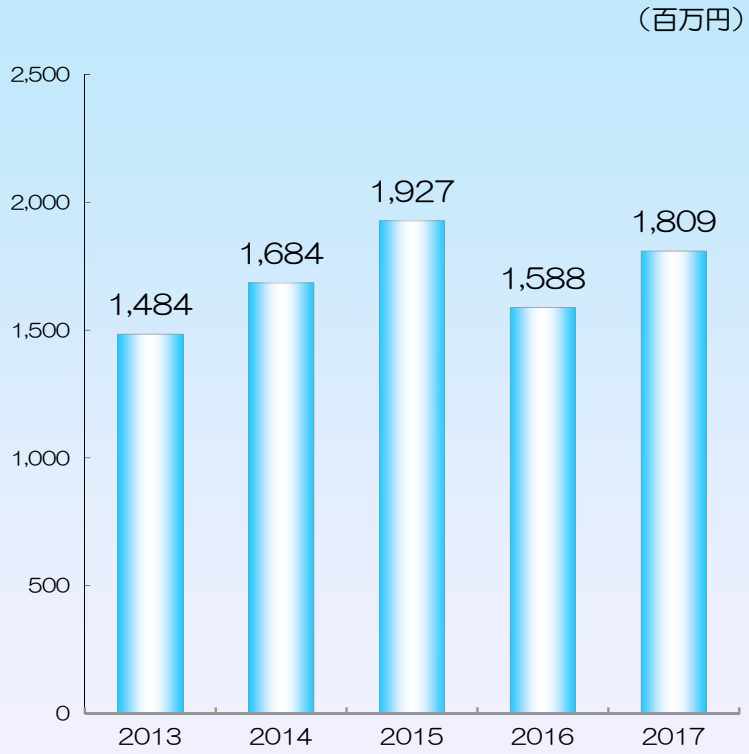


３－３　財務ハイライト（収益関連③）

為替差損益・通貨ｵﾌﾟｼｮﾝ評価損益

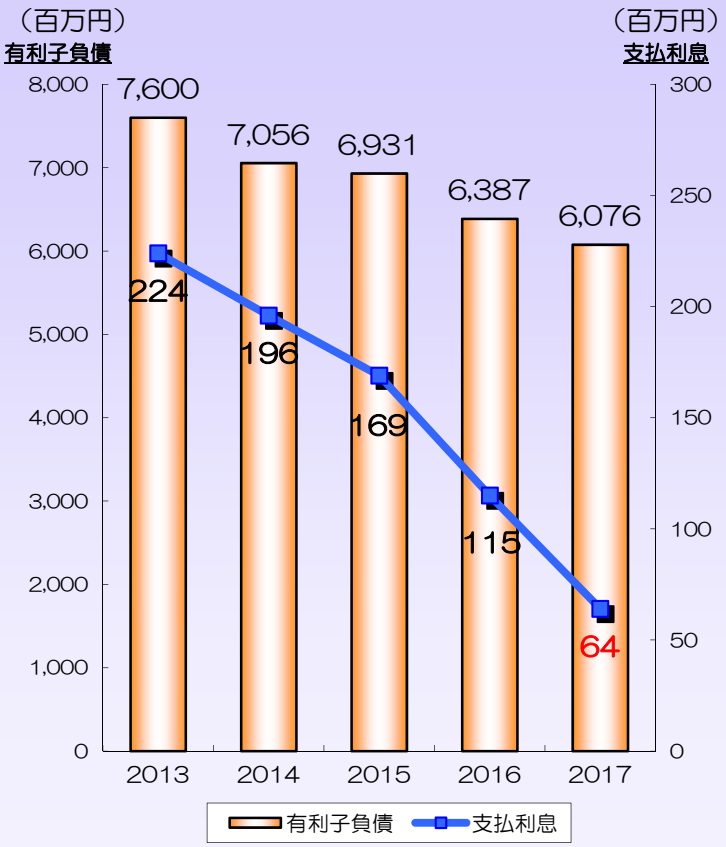


経常利益（除く為替・通貨ｵﾌﾟｼｮﾝ）

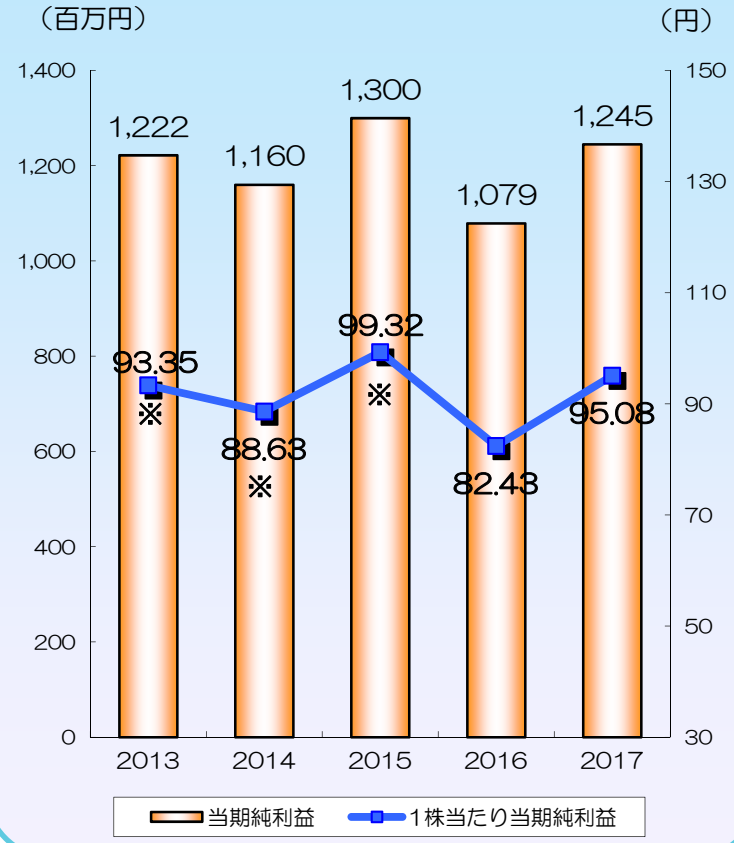


３－４　財務ハイライト（収益関連④）

有利子負債・支払利息



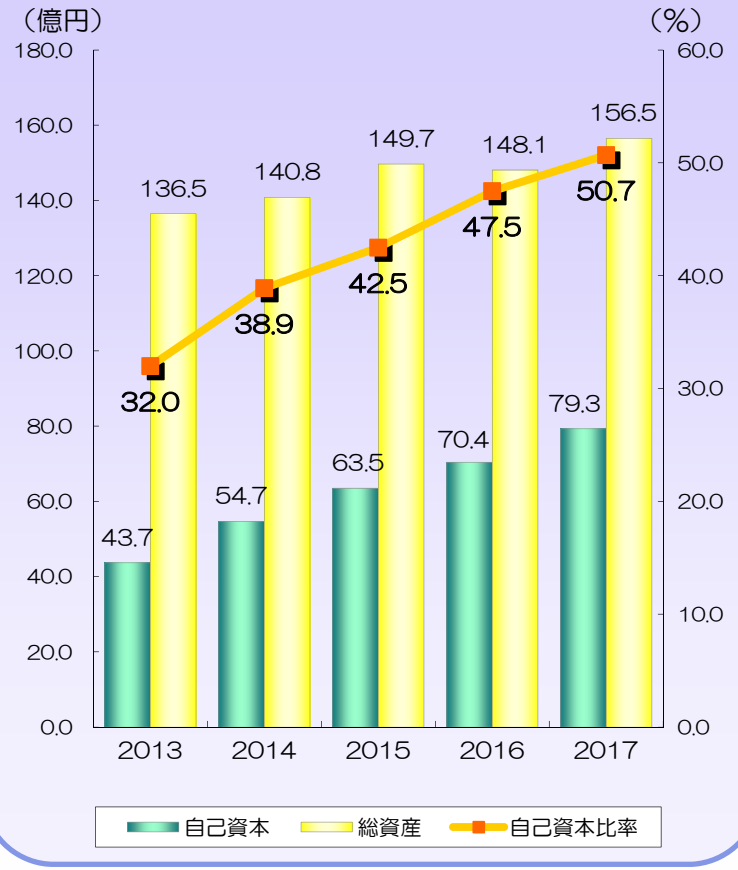
当期純利益・１株当たり当期純利益



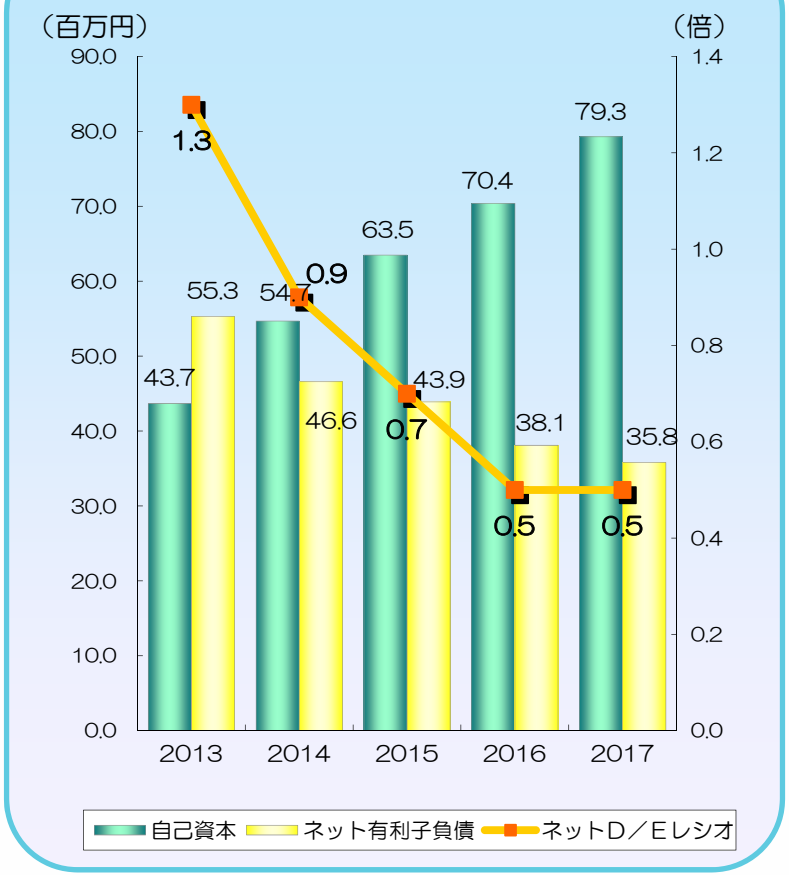
※　当社は2015年10月１日付で普通株式１株につき３株の割合で株式分割を行っておりますが、2013年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、１株当たり当期純利益を算出しております。

３－５　財務ハイライト（財務指標）

自己資本比率



ネットD／Eレシオ



※　ネットD/Eレシオ（倍）＝（有利子負債 － 現預金）÷ 自己資本
・・・ 長期の支払能力（安全性）をはかる指標

1．会社概要

2．2017年度決算

3．財務ハイライト

4．ビジネスモデル

4－1　ワールド・ワイド　ソリューション

標準的な国際複合一貫輸送取引

出荷元
日本

陸上輸送
（トラック）

通関

海上輸送

通関

全区間トラック
トラック＋鉄　道＋トラック
トラック＋内航船＋トラック

納入先
スイス

Door To Doorの国際複合一貫輸送

さまざまな輸送手段・ルートから、最適な組み合わせをアレンジ

ドライコンテナと同規格であるため、
　あらゆる地域でトラックや鉄道、内航船など様々な輸送手段の利用が可能



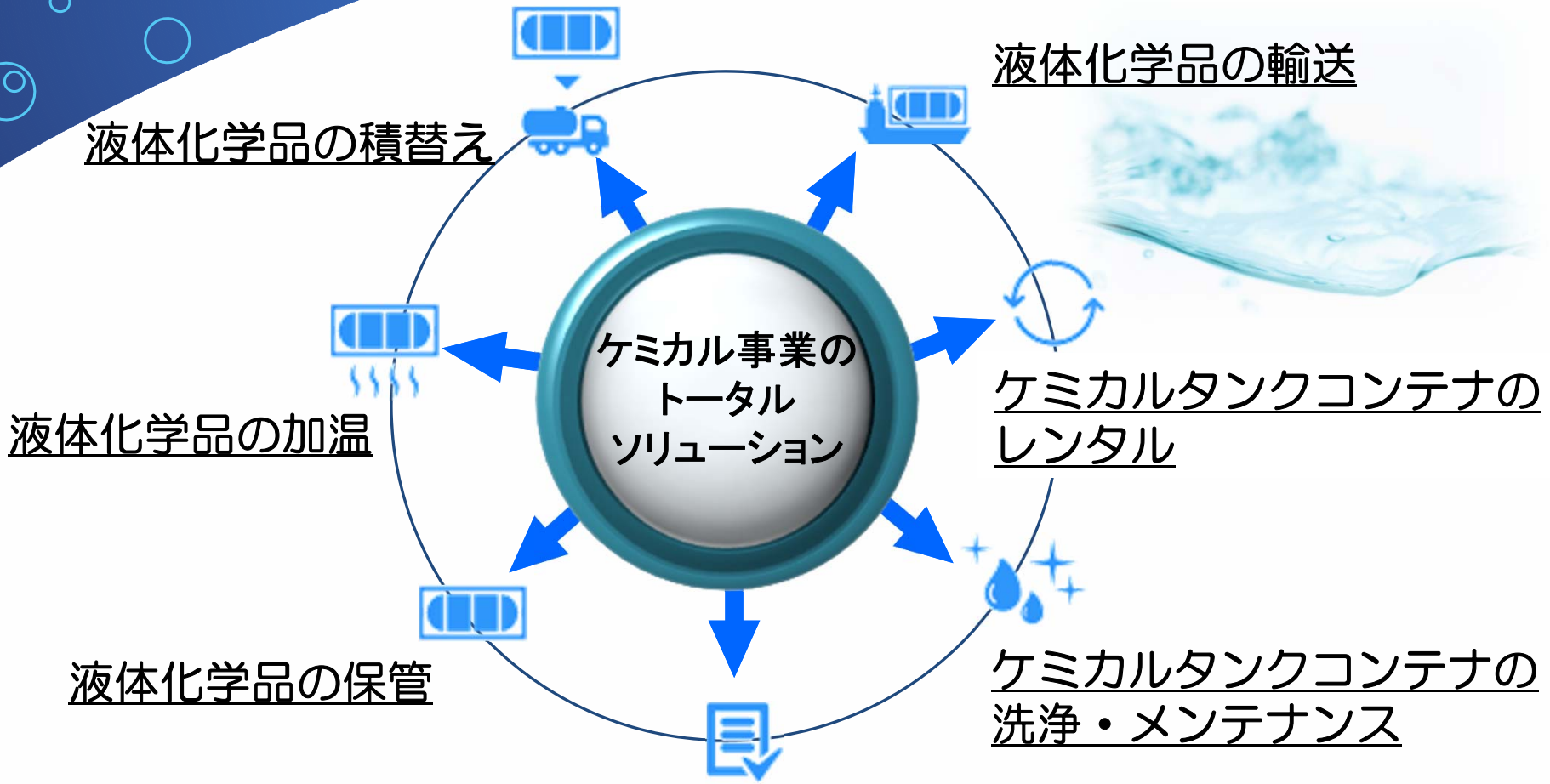




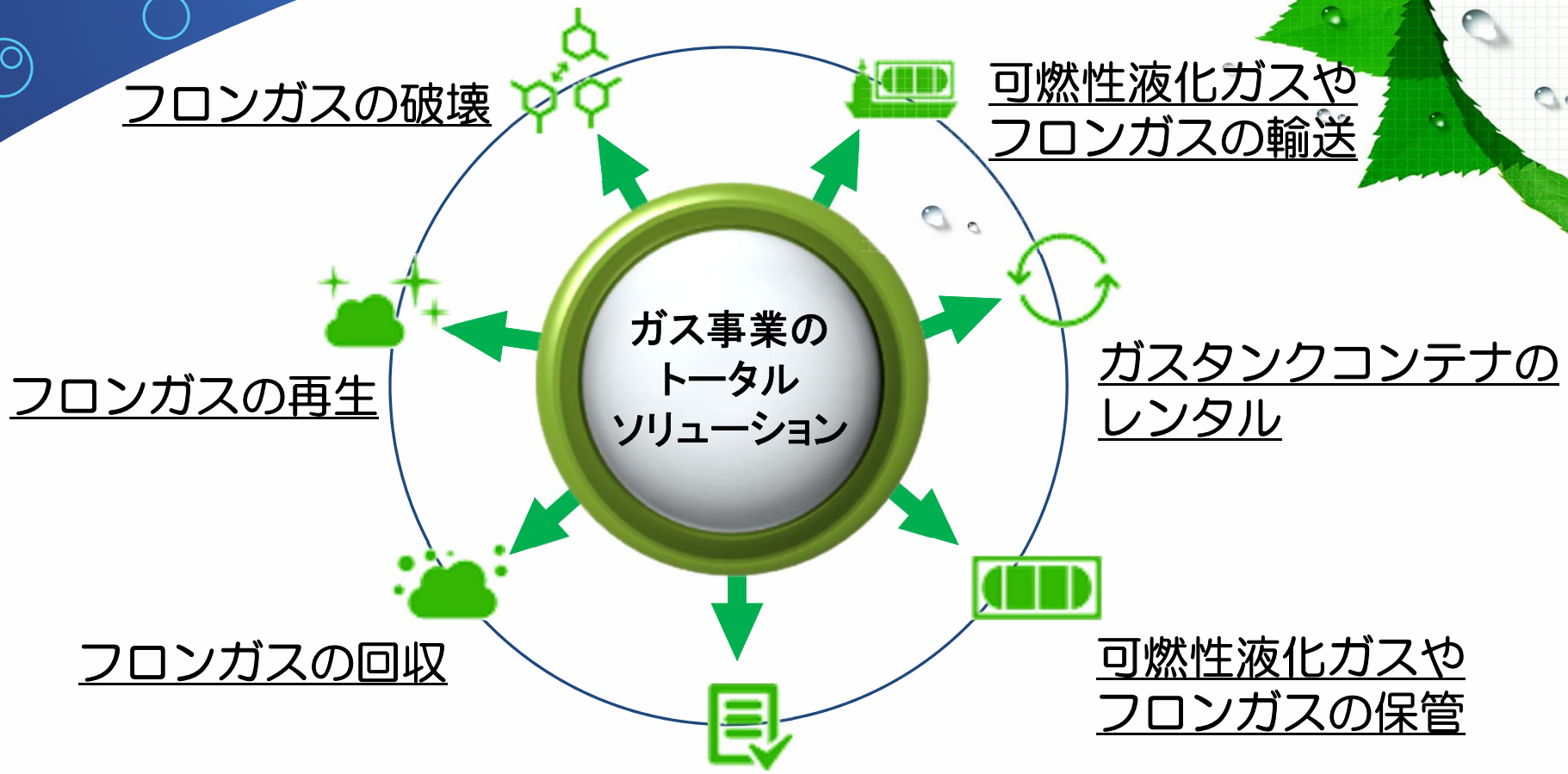




４－２　ケミカルタンクコンテナ事業の概要解説



４－３　ガスタンクコンテナ事業の概要解説



フロンガスの破壊

可燃性液化ガスや
フロンガスの輸送

フロンガスの再生

ガスタンクコンテナの
レンタル

フロンガスの回収

可燃性液化ガスや
フロンガスの保管

ガスタンクコンテナの
法定検査

【参考】タンクコンテナの特徴

安全性　利便性　耐久性



液体化学品や可燃性の液化ガス等を安全な状態でお届けするため、タンクの板厚や安全弁、排出弁など、IMDG CODE（国際海上危険物規定）で定められている仕様に従うほか、世界を自由に行き来するため、ISO（国際標準化機構）の規格に準拠したISOタンクコンテナを使用しています。





ISOタンクコンテナの使用により、トラック、鉄道、外航船、内航船などの多様な輸送手段を利用できるうえ、各国の港における荷役設備等、輸送に係るあらゆるツールを活用することができるため、輸送途上で貨物の移し替えを必要としません。

また、その荷姿のまま一時貯蔵することも可能なことから、大規模なストレージ設備を持たない新興国などへも容易に貨物を輸送することができます。



当社が保有するISOタンクコンテナは耐食性・耐圧性に優れ、長期反復利用が可能な環境にもやさしい輸送容器です。

種類	規格 ※	タンク容量	外形寸法	材質	板厚
ケミカル タンクコンテナ	T11	24,000リットル	L6m×W2.4m×H2.6m	SUS316L（耐食性に優れたステンレス）	4mm
ガス タンクコンテナ	T50			P460NL1（耐圧性能が非常に高い鋼板）	18mm

※ IMDG CODEによる仕様分類

NICHICON
NIPPON CONCEPT CORPORATION

Responsible Care
For Global Environment



ご清聴ありがとうございました。

経営理念

わたしたちは、効率的な国際物流システムを構築・運営することにより、世界中のお客様に貢献します。

わたしたちは、きめ細かい高品質のサービスをお客様に提供します。

わたしたちは、働く厳しさと喜びを共有し、国際物流のプロフェッショナル集団となることを目指します。

わたしたちは、公共性・信頼性・国際性を備え、社会に誇り得る会社となることを目指します。